

- 1 評価の実施期日：平成30年2月16日（金）、21日（水）
実施場所：上五島高等学校校長室

2 学校関係者評価委員

- (1) 委員氏名： ①下辺 弥代継
②原 雄一郎
③築地 伸介
④山本 元之
⑤田中 啓子

(2) 学校評議員との兼務：有

(3) 当日の出席：0名（2日に分けて実施）

3 学校関係者評価の内容

(1) 自己評価の結果について

- ①充実した教育活動が実施されていると思います。今後も関係機関との連携をさらに強化し、教育目標の実現を図っていただきたい。
- ②登下校の挨拶もだいたい良いようです。島内の人口増加につながるようできれば島内就職を進めてほしい。
- ③校外で子供達にできるだけ声かけをして挨拶できる子どもに育つよう協力していきたい。
- ④教育学部へ進学した生徒が夏休みなど帰島した時に、地域の学校でのボランティアなどを勧めてほしい。
- ⑤家庭学習時間のデータが高くなると後輩達もやる気が出るのではないか。
- ⑥新聞でよく記事を見かけ感動してる。教育が充実していることを感じている。
- ⑦地域との関わりを続けてほしい。その上でも地域探究学習は良いことである。
- ⑧生徒の個性を活かし、そのスイッチを押すような教育をお願いしたい。

(2) 学校の重点目標や自己評価の評価項目について

学校の教育方針や努力目標に対応した自己評価の評価項目であり適切である。

(3) 自己評価の結果を受け、学校運営の改善に向けた今後の取組について

- ①昨年度より取り組んでいる地域探究学習をさらに深化させることで、地域の問題を認識し、将来的に地域社会に貢献できる生徒の育成を進めていく。
- ②家庭学習に関する調査では、生徒・保護者とも家庭学習の時間が少ないデータが出ている。これは全職員で危機感を持って対応するとともに、1年次からの学習指導だけでなく、中学生やその保護者に対しても、今後必要とされる学力や受験システムの変更まで説明したり、中高連携会議を利用するなどするなど、高校入学前の早い段階からの意識の啓発を図る取り組みを進める。
- ③今後、地域探究学習を進めることで地域が抱える問題への意識高めるとともに、町役場や町内の事業所とも連携し、政策や選挙に対しての興味関心を醸成させる。また選挙では期日前投票所を校内に設置するなど投票率の向上にも取り組む。
- ④定時退校日やノー部活動日の設定など、生徒の休養時間の確保と職員の超過勤務縮減のための取り組みの効果が出てきたため、さらに進める。
- ⑤スマートフォンの所持率は本校も例外ではなく高い。使用方法やマナー、危険性などを継続的に指導をしていくとともに、保護者とも連携し問題行動に繋がらないよう早期の対応に気をつける。